

令和8年度イノベーション推進施策に係るPR業務

公募型プロポーザル選定委員会 議事要旨

標記業務に係る企画提案公募に対し、民間事業者から提出された提案書等の内容について広島県商工労働局所管公募型プロポーザル方式等選定委員会（産業振興施策）において、次のとおり審査した。

項 目		内 容
1	日 時	令和8年5月14日（木） 13時00分から16時45分まで
2	場 所	オンライン
3	出席委員	<ul style="list-style-type: none">・広島県 商工労働局 イノベーション環境整備担当部長・広島県 商工労働局 海外展開・投資促進担当部長・広島県 商工労働局 イノベーション推進チーム担当課長（イノベーション環境整備担当）・広島県 商工労働局 イノベーション推進チーム担当課長（地域産業デジタル化推進担当）・広島県 総務局 施策形成支援チーム 特別参与（デジタルマーケティング）
4	議 題	令和8年度イノベーション推進施策に係るPR業務の公募型プロポーザル審査
5	担当部署	広島県 商工労働局 イノベーション推進チーム スタートアップ企業創出担当
6	開催方法	オンライン
7	議事要旨	<p>提案のあった5社に対して、プレゼンテーションによる審査を行い、最も高い評価値を得たB社（クラシノ株式会社、SKY SOCIAL 株式会社）を最優秀提案者として決定した。</p> <p>【提案者ごとの主な評価・選定理由】</p> <p>A社：株式会社ロフトワーク</p> <p><u><支援内容></u></p> <ul style="list-style-type: none">・PR 施策についての知見、ノウハウが十分にあると感じた。・編集視点を取り入れたコンテンツ設計が提案されており、継続的な情報発信が期待できる。・Camps の特性を踏まえた展示企画となっており、来館者への訴求効果が期待できる。 <p><u><実施体制></u></p> <ul style="list-style-type: none">・安心できる体制だと感じた。 <p><u><総括></u></p> <ul style="list-style-type: none">・広島（県の取組や、県内スタートアップ、県の文化など）の理解度が他の提案者と比較して低く、委託した場合の実施効果のイメージが湧かなかった。・コンセプトについて好き嫌いはあるが、良いと感じた。このコンセプトでいくときは、狭い領域でのコンテンツにならないように考えてほしいと思うが、積み上

げていくパーセプションのイメージが湧く内容で、どんなコンセプトになってもしっかり支援いただけそう。

B社：クラシノ株式会社、SKY SOCIAL 株式会社

＜支援内容＞

- ・関連する事業を貫く「統合メッセージ」を核にして戦略策定する点が評価できる。
- ・よく課題を認識しており、ターゲットへのアプローチの考え方もユニークで、効果も期待できる。
- ・KPI 達成を意識した媒体設計や PR 方針が整理されており、具体的な展開イメージが示されている。
- ・AI を活用した記事作成など、生産性も考慮した手法となっている。

＜総括＞

- ・関連する事業の「現状把握～統合メッセージ～ガイドライン策定」の一連の作業を通じて実施しようとしており、効果的な広報の実現に向けた戦略策定が期待できる。また、自主提案を 10 本実施することで、質の部分のコンテンツを作成する点が評価できる。
- ・認識させたいパーセプションがあることは PR 活動を任せるにあたって評価できると感じた。

C社：株式会社 wolfram

＜支援内容＞

- ・本県の取組を分かりやすく整理された上で、広報戦略策定支援の骨格を示されており、期待が持てた。
- ・県外メディアへのアプローチがプレスリリースのみであり、弱く感じられる。

＜実施体制＞

- ・経験や知見は豊富と思われるものの、実務を担当するオペレーションにやや不安を感じた。

＜総括＞

- ・仕様書の内容をよく理解されていて、提案内容も一貫性があり、ロジックもよく整理されていると感じた。
- ・本県施策への理解を踏まえた堅実な提案内容であり、特に情報発信手法の具体性が評価できる。
- ・広報戦略経験を活かし、もう少しインパクトのある提案であればよかった。

D社：株式会社アスコン

＜支援内容＞

- ・戦略策定の前提条件の分析等が十分でなく、戦略策定のコンセプトも曖昧で、どういった方向性を持って、戦略を描くのか提案書だけでは理解できない。
- ・一時的な情報発信であり、継続性に欠けるように思われる。

<その他>

- ・動画配信を行うパートナーへ多額の予算を投入しており、次年度以降の継続的な広報展開に不安がある。

<総括>

- ・施策分析や課題整理に関する視点は見られたが、広報戦略としての具体性や実効性、情報発信の広がりの中で物足りなさが感じられた。

E社：株式会社エクレクト

<支援内容>

- ・本県施策や地域特性を踏まえ、県民への浸透も意識した提案内容となっており、評価できる。
- ・ターゲットを意識したPR施策が提案されており、県職員の広報マインド向上も意識した内容となっている。
- ・コンテンツ制作の方向性は整理されているが、媒体ごとの特徴を活かした工夫はやや弱かった。

<総括>

- ・広報業務の実績やノウハウがあり安心な印象。特にキャラバンや記者クラブなどの関係構築を職員と一緒にやるという切り口が次年度以降の県のアセットになりそうである。
- ・提案全体として、設計の要件は詳しく記載されているが、どのように業務を進めていくのかが、提案内容だけでは、判断ができない。